

いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけつ



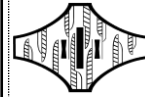
令和2年10月15日(木) 第30号 (発行者 校長 遠藤 修)

＜教育目標＞

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

＜校章の由来＞

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



東松院見学 「かんのん山」と市天然記念物「モミの木群」



「空かんのん」とともに

13日(火)、川前小中学校と一緒に東松院を見学しました。和尚さん夫妻にお寺の裏山の「フルナの樅(市天然記念物のモミの木群のうち1本)」や「空かんのん」、それらの周りに整備された「かんのん山」散策コースを案内していただきました。

また本堂では、その昔、和尚さんが飼っていた猫と樅の木にまつわるお話「かんのん山物語」の紙芝居を見せていただきました。優しい雰囲気の話り口とストーリーに引き込まれ、素敵な時間を過ごしました。

川前町の自慢がまたひとつ増えたようです。



日本教育公務員弘済会福島支部 「教育実践 優秀賞」

主体的に地域と関わり、発信する子どもの育成 ～「それゆけ!! 桶売もりあげ隊」の学習を通して～

令和元年度の本校の教育実践が日本教育公務員弘済会教育実践助成事業優秀賞を受賞し、12日(月)に交付式が行われました。

本校では、地域を舞台にした体験的な学習を通して主体的に学び自ら発信しようとする児童の育成に取り組んできました。今回の受賞に際し、地域素材の教材化や「伝える」表現活動の場の設定に大変工夫がみられたとの講評をいただきました。

学習の場を提供してくださった地域の皆様、学習活動にご理解をいただき、子ども達の背中を押してくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

本主題による研究も今年2年次を迎えます。これを励みに教育活動の一層の充実を図っていききたいと思います。



令和元年度 現職教育

主体的に地域と関わり、発信する子どもの育成 ～「それゆけ!! 桶売もりあげ隊」の学習を通して～



いわき市立桶売小学校



24日(土)の明夢祭に向けた準備が着々と進められています。

体育館で行われていた小中合同の実行委員会をのぞいてみました。

小中学生が入り混じってオープニングセレモニーを練習中。それぞれの立ち位置を確認した後、セリフや進行を確認していきます。中学生のリーダーシップが光っています。

明夢祭にむけて

リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.093 μ Sv/h 10/15 10:30

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

